LGL23

取扱説明書

詳しい操作説明は、本製品に搭載されている「取扱説明書アプリケーション」をご覧ください。

ごあいさつ

このたびは、G Flex（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』（本書）または『取扱説明書（詳細版）』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』（本書）を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『取扱説明書』（本書）

主な機能の主な操作のみ説明しています。さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書（詳細版）』をご参照ください。

http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 取扱説明書アプリケーション

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

● 操作手順

1 ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［設定/サポート］ ▶ ［取扱説明書］

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています（発売約1ヶ月後から）。
Download URL: http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。

- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 本製品はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、本製品の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本製品に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

マナーも携帯！

- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

●本体

●microSDリーダライタ（試供品）

●au IC Cardオープナー（試供品）

●設定ガイド
●取扱説明書（本書）
●保証書

以下のものは同梱されていません。
●microUSBケーブル
●ACアダプタ
●microSDメモリカード
●イヤホン

memo

- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。
- 電池は本製品に内蔵されています。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービス、災害情報／義援金サイトを利用することができるアプリです。

1 ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［設定/サポート］ ▶ ［au災害対策］

au災害対策メニューが表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方の他、他通信事業者やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの、「災害用伝言板サービス」をご覧ください。

1 **au災害対策メニュー ▶ [災害用伝言板]**

画面に従って、登録／確認を行ってください。

memo

- 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

- 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害·避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害·避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 **au災害対策メニュー ▶ ［緊急速報メール］**

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。
		災害・避難情報：災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**：受信音の音量を設定します。
		バイブ：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。
		マナー時の鳴動：マナーモード（サウンドプロフィールが「バイブレートのみ」または「サイレント」）設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。

設定	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。
		災害・避難情報：災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

- 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
  ※ 緊急地震速報の場合は、警報音と音声（「地震です」）、バイブレータの振動で通知します。
- 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
- 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒〜数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。

- 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報、津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
- 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
- 電源を切っている時や通話中は、緊急速報メールを受信できません。
- SMS ／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中は、緊急速報メールを受信できない場合があります。

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー ▶［災害用音声お届けサービス］

■ 音声を送る（送信）

［声をお届け］を選択し、［①お届け先を選択※］→［②お届けしたい声を録音］の順で操作してください。

※ お届け先は、連絡先からも選択可能です。

■ 音声を受け取る（受信）

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

- Wi-Fi®でのご利用には、LTE/3Gネットワークにて初期設定が必要になります。
- 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
- au携帯電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとり可能です。
- メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」）に設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。

- 本体（メモリ）に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
- 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害情報／義援金サイトを利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータル、義援金サイトなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー ▶ ［災害情報／義援金サイト］

2 画面の指示に従って操作

目次

安全上のご注意

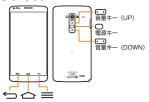
ご利用の準備

基本操作

文字入力

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

表記	意味
ホーム画面 ▶ [電話] ▶ [1] [4] [1] ▶ [ ]	ホーム画面下部の[（電話）]をタップします。続けて[1][4][1]の順にタップして、最後に[ ]をタップします。

表記	意味
ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定]	ホーム画面で[☰]をタップします。続けて[システム設定]をタップします。

memo

- 本書では縦表示の操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
- 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

- 本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」および「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障･修理･その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害･逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化･消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）
沖縄セルラー電話（株）
輸入元：LG Electronics Japan（株）
製造元：LG Electronics Inc.

memo

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ **ご使用の前に､この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。**

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

区分	説明
⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明･けが･やけど（高温･低温）･感電･骨折･中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが･やけど（高温･低温）･感電などを指します。

※3 物的損害：家屋･家財および家畜･ペット
にかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

図記号	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

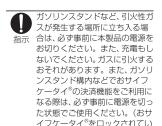
図記号	説明
指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠ 危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示　必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

禁止　高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

指示　ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

禁止　電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火･破裂･火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片･鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電･発火･傷害･故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火･破裂･火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。
故障･発火･感電･傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

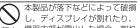
落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

水ぬれ禁止

本体が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災や故障の原因となります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

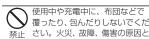
禁止

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

注意 **必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止 外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止 本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

指示 イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示 イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

指示 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

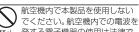
■ 本体について

⚠ 警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止

自動車･原動機付自転車･自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車･原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

指示

高精度な電子機器の近くでは本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。

2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

撮影ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠ 注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

■ 本製品で使用している各部品の材質は以下のとおりです。

使用箇所		使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）		PC樹脂	NCVM、UVコーティング
外装ケース（外部接続端子挿入部周辺）		PC/ABS+GF+PCR樹脂	IML
ボタン	電源キー	PC樹脂	NCVM
	音量キー	AL	陽極酸化処理
ディスプレイ		強化ガラス	AFコーティング
au Micro IC Card (LTE)スロット		PC樹脂	UVコーティング
カメラレンズ		ソーダ石灰ガラス	AR、AFコーティング
カメラ&キー飾り部		PC樹脂	UVコーティング
フラッシュ		PC樹脂	-
赤外線ポート		PC樹脂	-
テレビアンテナ	ポール部	ステンレス鋼	-
	先端部	PC樹脂	UVコーティング

禁止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

禁止

テレビアンテナなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

禁止

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■ 内蔵電池について

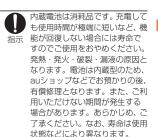
（本製品の内蔵電池は、リチウムポリマー電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。
充電してからお使いください。

⚠ 危険　必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

指示

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

指示

内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。
発火･火災･発熱･感電などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）：
  AC100V ～ 240V
- DCアダプタ（別売）：
  DC12V･24V（マイナスアース車専用）

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指示

共通DCアダプタ03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V、1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

禁止

指定の充電用機器（別売）のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

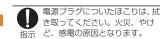
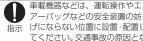
接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

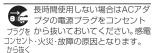
雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

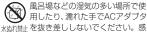
水ぬれ禁止

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

指示

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

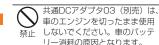
指示

指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ03（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

警告　**必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠ 注意 **必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

指示 au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

指示 au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止 au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止 au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止 au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失･故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ microSDリーダライタ（試供品）について

⚠ 危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止　高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

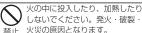
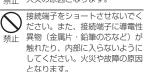
禁止　電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止　火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止　接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

分解禁止　お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。発熱・火災・感電・電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源を切り、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れたmicroSDリーダライタ（試供品）は使用しないでください。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠ 注意 **必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止

直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品を床に放置しないでください。誤って踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。

お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が「取扱説明書」（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

禁止

microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

■ microSDリーダライタ（試供品）で使用している各部品の材質は以下のとおりです。

使用箇所	使用材質	表面処理
microSDリーダライタ本体	Case Lupoy SC1002FHKPA1	Etching-SA06
microSDリーダライタ端子	PBS（C5210）	金メッキ
microSDリーダライタスロット	SHELL SUS304	-

■ au IC Cardオープナー（試供品）について

⚠ 警告　必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau IC Cardオープナー（試供品）を入れないでください。溶損・発熱・発煙・故障の原因となります。

禁止

au IC Cardオープナー（試供品）の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。失明や傷害の原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。

指示

au IC Cardオープナー（試供品）を本製品に挿入するときは、手や指を傷つけないようにご注意ください。

⚠ 注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

au IC Cardオープナー(試供品)を使用の際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au IC Cardオープナー(試供品)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・故障の原因となります。

au IC Cardオープナー(試供品)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・故障の原因となります。

au IC Cardオープナー(試供品)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au IC Cardオープナー(試供品)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au IC Cardオープナー(試供品)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

■ au IC Cardオープナー（試供品）で使用している各部品の材質は以下のとおりです。

使用箇所	使用材質	表面処理
au IC Cardオープナー本体	SUS304	-

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続器を外部接続端子やイヤホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話･テレビ･ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。

  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

● 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク 〒」が本製品の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで確認いただけます。

ホーム画面 ▶［ ☰ ］▶［システム設定］▶［一般］▶［端末情報］▶［規制と安全に関する情報］

本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先･メール･お気に入りなどの内容は、事故や故障･修理、その他取り扱いによって変化･消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している有機ELディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などがあります。また、見る角度により色味が変化したり、明るさのむらが見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、「画面の明るさ」設定を常時明るく設定して、極度な連続使用をしたりすると部分的に照度が落ちますが、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 本製品の温度上昇や電池残量低下等により、ディスプレイの輝度が落ちる場合があります。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

● ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。

● 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

● ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。

● 外部接続端子に外部機器を接続するときは、外部接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。

● 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

● 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

● タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。

● ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

● 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。

● ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。

● ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムポリマー電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

● ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。

● 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻き付けないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

● 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

● au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失･破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難･紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

● au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。

● 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。

- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ microSDリーダライタ（試供品）について

- microSDリーダライタ（試供品）はほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- microSDリーダライタ（試供品）は接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- microSDリーダライタ（試供品）のお手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- microSDリーダライタ（試供品）をお子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- microSDリーダライタ（試供品）のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

■ au IC Cardオープナー（試供品）について

- au IC Cardオープナー（試供品）の挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- au IC Cardオープナー（試供品）は異なる機種の携帯電話には使用しないでください。破損の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ機能について

● 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。

● 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。

● 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※をお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

  ※ 控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影した動画や静止画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	❶ お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	❷ お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合

初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● ロックNo.(NFC／おサイフケータイロック)

使用例	「NFC／おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

機能	説明
画面ロック	起動時や画面ロックの解除方法にフェイスアンロック、パターン、PIN、パスワードを設定することにより、データを安全に保護できます。

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードのロック」（▶P.73）で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードのロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」（▶P.73）で新しくPINコードを設定してください。

- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ･PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。
- 「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

■ UIMカードのロック

1 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [一般]

2 [セキュリティ] ▶ [UIMカードのロック設定]

3 [UIMカードのロック]

4 PINコードの入力 ▶ [OK]

■ UIM PINの変更

1 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [一般]

2 [セキュリティ] ▶ [UIMカードのロック設定]

3 [UIM PINの変更]

Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能や無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- 航空機内での使用はできません。無線LAN（Wi-Fi®）対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します

2.4FH1/DS4/OF4

- Bluetooth®機能：2.4FH1
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- 使用帯域：全帯域
  全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されています。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

■ HT20
W52（5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch）
W53（5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch）
W56（5.6GHz帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch）

■ HT40
W52（5.2GHz帯 / 38, 46ch）
W53（5.3GHz帯 / 54, 62ch）
W56（5.6GHz帯 / 102, 110, 118, 126, 134ch）

■ HT80
W52（5.2GHz帯 / 42ch）
W53（5.3GHz帯 / 58ch）
W56（5.6GHz帯 / 106, 122ch）

IEEE802.11 b/g/n		
IEEE802.11 a/n/ac		
W52	W53	W56

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
  このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

各部の名称と機能

❶ **送話口（スピーカー通話用のマイク）**
スピーカーをONにして通話しているときに使用します。
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。通話中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

❷ **サブカメラ（レンズ部）**

❸ **近接センサー／明るさセンサー**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
明るさセンサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

❹ **au Micro IC Card (LTE)スロット**
トレイイジェクトホール（スロットの穴部分）にau IC Cardオープナー (試供品) を差し込んで引き出せます。

❺ **通知LED**

❻ **受話口（レシーバー）**
通話中の相手の方の声、留守番電話の再生音などが聞こえます。

❼ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❽ **送話口（マイク）**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

❾ **テレビアンテナ**

❿ **外部接続端子**
指定のACアダプタ（別売）やmicroSDリーダライタ（試供品）などの接続時に使用します。

⓫ **イヤホン端子**

⓬ **内蔵アンテナ部**
利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。

⓭ **メインカメラ（レンズ部）**

⑭ **赤外線ポート（IrRC）**
Qリモートを利用する場合に使用します。赤外線通信によるデータの送受信は行えません。

⑮ **電源キー**
スリープモードの移行／解除に使用します。
電源キーを長押しすると、マナーモード（サウンドプロフィールの設定）や機内モードの設定／解除、電源ON／OFF、再起動を行えます。

⑯ **内蔵電池**
電池は本体に内蔵されており、お客様による取り外しはできません。

⑰ **フラッシュ**

⑱ **音量キー（DOWN／UP）**
音量を調節します。

⑲ **マーク**
リーダー／ライターにかざすと、NFCデータ／FeliCaチップ内のデータのやりとりができます。

⑳ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。

※ 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

memo

- 本製品の背面には、小さな引っかき傷であれば、短い時間で自己修復可能な技術が使われています。
  - 「小さな引っかき傷」とは、通常使用する際に摩擦などで発生する、わかりづらいわずかな傷のことです。
  - 本製品を故意に落下させる、投げつけるなど強い衝撃による損傷の場合、傷が消えないことがあります。
- 本製品を強制的に歪めたり、荷重を加えて変形された状態を放置すると、ディスプレイと機能の損傷、外観の変形や破損の恐れがあります。

au Micro IC Card (LTE)を利用する

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。

《au Micro IC Card (LTE)》

IC（金属）部分

本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau IC カード、micro au IC カードまたはau Nano IC Card (LTE)を差し替えてのご利用はできません。

memo

- au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
  - au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本製品本体のICカード用端子には触れないでください。
  - au Micro IC Card (LTE)挿入時は、正しい挿入方向をご確認ください。
  - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- 取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

■ au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合

au Micro IC Card (LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない、もしくはau Micro IC Card (LTE)以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、が通知エリアに表示され、次の操作を行うことができません。

- 電話をかける※／受ける
- 3G ／ LTEデータ通信
- Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定および送受信
- SMSの送受信
- 自局電話番号の確認
- UIMカードのロック設定

※ 110番（警察）·119番（消防機関）·118番（海上保安本部）への緊急通報や157（お客さまセンター）への発信もできません。

また、上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

■ PINコードによる制限設定

au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。（▶P.72「PINコードについて」）

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

au Micro IC Card (LTE)の取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

また、トレイの引き出し／差し込みは本製品の背面を上に向けて行い、au Micro IC Card (LTE)の落下による破損や紛失が起こらないように注意してください。

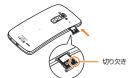
1 au IC Cardオープナー（試供品）の先端をトレイイジェクトホールに差し込む

- トレイが少し出ます。

2 トレイを引き出す

3 au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）面を下にしてトレイに格納する

4 図の向きでトレイをau Micro IC Card (LTE)スロットに差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。
また、トレイの引き出し／差し込みは本製品の背面を上に向けて行い、au Micro IC Card (LTE)の落下による破損や紛失が起こらないように注意してください。

1 au IC Cardオープナー(試供品)の先端をトレイイジェクトホールに差し込む

- トレイが少し出ます。

2 トレイを引き出す

- トレイの上下を逆にすると、au Micro IC Card (LTE)が落下する恐れがあります。

3 トレイからau Micro IC Card (LTE)を取り出す

4 図の向きでトレイをau Micro IC Card (LTE)スロットに差し込む

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったときは、充電してからお使いください。
ご利用可能時間は、次のとおりです。

連続待受時間※	約670時間（LTE使用時） 約690時間（3G使用時）
連続通話時間※	約1260分

※ 日本国内でご利用の場合の時間です。使用環境や内蔵電池の状態によって使用時間は異なります。

memo

- 充電中、本製品と内蔵電池が温かくなることがありますが異常ではありません。（充電しながら、カメラの起動や通信を行うと、内蔵電池の温度が高くなります。）
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。

指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

ここでは共通ACアダプタ04（別売）を接続して充電する方法を説明します。
指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.139）をご参照ください。
充電時間は、約130分です。

1 共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBコネクタを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

- microUSBケーブルは、「B」の刻印がある面を上にしてまっすぐに差し込んでください。

2 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

画面上部のステータスバー（▶ P.107）に が表示され、充電が開始されます。充電が完了するとステータスバーに 100 が表示されます。

3 充電が終わったら本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBコネクタをまっすぐに引き抜く

4 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

memo

が表示されない場合

- 画面上部のステータスバーに が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく待っても表示されないときは接触不良が考えられます。共通ACアダプタ04（別売）が確実に接続されているかご確認ください。それでも表示されない場合は充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

パソコンを使って充電する

1 microUSBケーブル（別売）のmicroUSBコネクタを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

- microUSBケーブルは、「B」の刻印がある面を上にしてまっすぐに差し込んでください。

2 microUSBケーブル（別売）のUSBコネクタをパソコンのUSBポートにまっすぐに差し込む

memo

- 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
- USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて、時間が長くかかる場合があります。
- 充電のみを行う際にパソコン上に「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ◯ 電源キー（2秒以上長押し）

ロック解除画面が表示されます。
画面をスワイプすると、ロックが解除されます。

memo

- 電源を入れてから「au」のロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

電源を切る

1 ⬭ 電源キー（2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 [電源を切る] ▶ [OK]

強制的に電源を切る

本製品の電池は内蔵電池になっており、取り外せません。「画面が動かない」などの症状が発生した際に強制的に電源を切るには、以下の操作を行ってください。

1 ⬭ 電源キー（10秒以上長押し）

強制的に電源がOFFになります。

memo

- 共通ACアダプタ 04（別売）を接続（▶P.91）して、操作することも有効です。

再起動する

1 ⬭ 電源キー（2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 [再起動] ▶ [OK]

memo

- 8秒以上 ⬭ 電源キーを押し続けると、本製品が再起動します。

スリープモードについて

◯ 電源キーを押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に ◯ 電源キー

スリープモードが解除され、ロック解除画面が表示されます。

memo

- スリープモード中に ◯ 電源キーを押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。
- ［スキップ］、［今は設定しない］などをタップすると該当の設定を省略できます。

1 ◯ 電源キー（2秒以上長押し）

電源が入ります。

2 言語を選択して、［次へ］

3 インターネット接続設定を選択して、［次へ］

4 Googleアカウントの設定を行い、[▶]

- Googleアカウントの追加画面が表示されます。Googleアカウントのセットアップについて詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
- 文字入力方法について詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

5 フロントタッチボタンの設定を行い、[次へ]

6「新しい体験をしましょう」画面で［完了］

7「auかんたん設定」を必要に応じて設定する

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。
初期設定について詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

memo

- Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Googleハングアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- サインインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。
au IDの設定画面は、メインメニューのアプリケーション一覧 ▶ [設定/サポート] ▶ [au ID 設定] をタップすると表示されます。
初期設定について詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

タッチパネルの使い方

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作

■ タップ／ダブルタップ
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ
項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド
画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック（スワイプ）
画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ ピンチ
2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ
画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面の見かた

ホーム画面は複数のデスクトップで構成されています。デスクトップを追加してショートカットやウィジェット、フォルダーを追加することができます。

1. ステータスバー
2. クイック検索ボックス
3. ショートカット／ウィジェット／フォルダー
4. クイックメニュー
5. デスクトップ

❻ **アプリ**
メインメニューが開き、アプリケーション一覧が表示されます。

❼ **フロントタッチボタン**

戻るキー
1つ前の画面に戻ります。

ホームキー
ホーム画面を表示します。

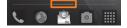
メニューキー
オプションメニューを表示します。

- フロントタッチボタンのアイコン領域から上へスワイプし、Google へドラッグするとGoogle検索、Q へドラッグするとQメモが起動できます。

ホーム画面を利用する

デスクトップを切り替える

ホーム画面は複数のデスクトップで構成されており、左右にスライド／フリックすることで、デスクトップを切り替えることができます。

- 画面下部には、現在の表示位置を示すインジケーターが表示されます。

アプリケーションを起動する

1 ホーム画面 ▶ [アプリ]

2 アイコンをタップ

タップしたアイコンのアプリケーションが起動します。
フォルダーに格納されたアイコンは、フォルダーをタップすると表示されます。

memo

・アプリケーションのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

主なアプリケーション

プリインストールされている主なアプリケーションは以下のとおりです。

アイコン	アプリ名	概要
	Friends Note	Friends Noteはau携帯電話からのアドレス帳移行やサーバへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。

アイコン	アプリ名	概要
	auスマートパス	月額372円（税抜）でアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。
	LISMO	音楽を再生したり、最新の楽曲情報を調べたりできます。
	au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi®親機と簡単に接続できます。外出先ではau Wi-Fiのご利用可能なスポットですぐにWi-Fi®が使えるようになります。
	リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。

アイコン	アプリ名	概要
	3LM Security	本製品を盗難・紛失された場合に、遠隔操作で本製品の位置検索やロックをすることができます。
	Facebook	友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

また、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（PCメール）
	新着メールあり（Gmail）
	新着SMSあり
	アラーム終了、スヌーズ中 • アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときや、スヌーズ中に表示されます。
	カレンダーの予定通知あり
／	ワンセグ起動中／フルセグ起動中
	音楽再生中
	着信中
	本体の空き容量が少ないとき
	USB接続中
	データのアップロード、ファイルの送信 • ファイル送信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ、アプリケーションのダウンロード中、ダウンロード完了、インストール中、ファイル受信中、ファイル受信完了、ファイル受信失敗 • アプリケーションのインストール中、ファイル受信中のアイコンはアニメーション表示されます。

アイコン	概要
	利用可能なアップデートあり
	Google Playでインストール完了、または更新完了
	VPN接続中
	メジャーアップデート（OSアップデート）更新あり
	まとめられたアイコンあり • まとめられたアイコンは通知パネルで確認できます。
	Wi-Fi®テザリング中
	Bluetooth®テザリング中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
15:00	時刻
	アラーム設定あり
	電池レベル状態 十分／ 充電が必要／ 充電中 •「十分」以外の充電中のアイコンはアニメーション表示されます。
	機内モード
	電波の強さ（受信電界） レベル4 ／ 圏外
LTE	LTEデータ通信状態
3G	3Gデータ通信状態

アイコン	概要
	CDMA 1Xデータ通信状態
	ローミング中
	文字種 ひらがな漢字入力／半角英字入力／半角数字入力／半角カタカナ入力／全角英字入力／全角数字入力／全角カタカナ入力
	バイブレートのみ設定中
	サイレント設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4 ／ レベル0
	Bluetooth®利用中 待機中／接続中

アイコン	概要
	GPS利用中 • GPS取得中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ同期中
	マイク付きイヤホン挿入状態
	イヤホン挿入状態

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認したり、対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 ステータスバーを下方向にスライド

❶ **日付と時刻**
日付と時刻を表示します。

❷ **クイック設定**
Qメモ、サウンドプロフィール、GPS、Wi-Fi®などをタップして起動や設定の変更が行えます。

- ［LTE］をタップすると、LTEデータ通信の設定を有効／無効に切り替えられます。

❸ **Qスライドアプリ**
マルチタスクでアプリケーションを起動できます。

❹ **画面の明るさ**

❺ **ボリューム**

❻ **設定**
システム設定画面が表示されます。

❼ **消去**
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。
通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

❽ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

❾ **閉じるバー**
上方向にスライドすると通知パネルを閉じます。

通知LEDについて

通知LEDの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

■ 前面LED

LEDの色と点灯／点滅	通知内容
赤の点滅	充電中、スリープモード中にボイス録音していることを示します。
緑の点滅	着信時、不在着信、PCメールに登録されたメールアカウントに未確認のEメールがあることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。
虹色の点滅	アラーム鳴動中であることを示します。
水色の点滅	カレンダーの通知があることを示します。
青の点滅	おサイフケータイ®、NFCが使用中であることを示します。

※ スリープモード中に通知LEDが点灯／点滅してお知らせします。着信時やメールの受信などの通知は、スリープモード中かに関わらず点灯／点滅します。

※ Eメール（@ezweb.ne.jp）受信時に点滅するLEDの色は、「赤、緑、青、黄、紫」の中から選択できます。

※「ダウンロードアプリ」にチェックを付けると、ダウンロードアプリからのLED通知が表示されます。LED通知の色は、ダウンロードアプリによって異なります。チェックを外すとダウンロードアプリからのLED通知は表示されません。（▶P136「通知表示LED」）

スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

1 **電源キーと 音量キー（DOWN）を同時に1秒以上押す**

撮影したスクリーンショットは、ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本機能］▶［ギャラリー］▶［Screenshots］で見ることができます。

Qメモ機能を利用する

簡単にメモが作成できるアプリケーションです。
紙と同じように自由に使用することができ、キャプチャした画面で重要な情報をハイライトすることなどもできます。

1 通知パネルを開き、［Qメモ］をタップ

2 メモを作成する

画面の上部または四隅に以下の情報が表示されます。

：画面にメモを残したまま、他の機能が使用できます。
：背景の画面を表示／非表示にしたり、テーマを選択できます。
/ ：元に戻す/ やり直します。
：ペンの種類やカラーを選択できます。
：消しゴムを利用できます。「すべて消去」をタップすると、作成したメモがすべて削除されます。
：作成したメモをBluetooth®やEメールなどで送信できます。

[保存アイコン]	：	作成したメモを保存します。
[∨] [∧]	：	タップすると、ツールバーを表示／非表示します。
[ロックアイコン]	：	フロントタッチボタンをロックまたはロック解除します。

3 [[保存アイコン]] ▶ **保存先を選択**

作成したメモが保存されます。
保存先として以下の選択肢が表示されます。

- ノートブック
- ギャラリー

memo

- フロントタッチボタンのアイコン領域から上へスワイプし、[[Qメモアイコン]] へドラッグしてもQメモを起動できます。
- 指で軽く触れて操作してください。市販のタッチペンを使用した場合、動作しない可能性があります。

文字入力について

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

ソフトウェアキーボードを切り替える

1 文字入力画面 ▶［ ］をロングタッチ

クイック検索ボックスの場合は、［ ］／［ ］をロングタッチします。

2［ ］／［ ］

■ 10キーキーボード　■ QWERTYキーボード

memo

- お買い上げ時には、入力ソフトとして「LG 日本語キーボード」がインストールされています。
- LG 日本語キーボードでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定するには、文字入力画面 ▶ [🎤] をロングタッチ ▶ [⚙] ▶ [キーボード設定] と操作します。

文字を入力する

10キーキーボードで入力する

キーを上下左右にフリックすることで、各行の入力したい文字を入力できます。

QWERTYキーボードで入力する

入力したい文字の文字入力キーをタップします。「ひらがな漢字」の場合は、ローマ字入力になります。

文字入力画面の見かた

《文字入力画面（10キーキーボード）》

《文字入力画面（QWERTYキーボード）》

※ ひらがな漢字入力中のキー表示です。

1. **文字入力エリア**
2. **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト**
3. **音声入力キー／バックキー**
4. **カーソルキー**

❺ **数字・記号・顔文字キー／英数・カナキー**

❻ **文字種切替キー**
入力する文字種を切り替えます。

❼ **括弧キー／大文字・小文字・濁点・半濁点切替キー**

❽ **ソフトウェアキーボード**
各キーに割り当てられた文字を入力できます。

❾ **DELキー**
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

❿ **変換キー／スペースキー**
ひらがな入力中は通常変換候補リストを表示します。カーソルの位置にスペースを挿入します。

⓫ **確定キー／改行キー**
入力中の文字を確定します。カーソルの位置で改行します。

⓬ **シフトキー**

入力モードを切り替える

1 文字入力画面 ▶ [🎤] をロングタッチ ▶ [⚙] ▶ [入力モード切替]

2 入力モードを選択

電話をかける

1 ホーム画面 ▶［電話］

電話番号入力画面が表示されます。

❶ 画面切替タブ　❷ 電話番号入力欄
❸ 数字キー　❹ SMSキー
❺ 削除キー　❻ 発信キー

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 ［ ］

通話中画面が表示されます。通話中に 音量キー（DOWN ／UP）を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

4 ［終了］

「通話設定」の「連絡先未登録番号追加」を有効にすると、連絡先に未登録の電話番号との通話終了後に、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。お買い上げ時は無効に設定されています。

memo

- 発信中／通話中に近接センサーをおおう（スピーカーがONになっているときなどを除く）と、画面が消灯します。
- 「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
- 送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。また、緊急通報番号（110、119、118）へ電話をかけると「機内モード」の設定が解除されます。

履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面 ▶ ［電話］

2 ［通話履歴］

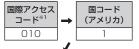
3 電話をかけたい相手の［ ］

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面で国際アクセスコード、国コード、市外局番、相手の方の電話番号を入力 ▶ [📞]

電話番号入力画面 ▶ [☰] ▶ [国コード] で相手先の国名を選択して国際電話をかけることもできます。

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア･モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日から再びご利用いただけます。また、ご利用停止中も国内通話は通常どおりご利用いただけます。
- 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
  - au電話から
(局番なしの）157番（通話料無料）
  - 一般電話から
フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
  - 受付時間9：00 ～ 20：00

緊急通報位置通知について

本製品は、警察･消防機関･海上保安本部への緊急通報の際､お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

- 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街･建物内･ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。

- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

電話を受ける

1 着信中に［ ］をスライド（スワイプ）

バックライト点灯中（ロック解除画面表示中を除く）に着信があった場合は、［電話に出る］をタップします。

2 通話 ▶［終了］

「通話設定」の「連絡先未登録番号追加」を有効にすると、連絡先に未登録の電話番号との通話終了後に、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。お買い上げ時は無効に設定されています。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、画面に電話番号が表示されます。電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、画面に理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

- LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルデータ」（▶P.133）をオフにしてご利用ください。

着信時に着信音を消音にするには

- 着信中に 電源キーまたは 音量キー（DOWN ／ UP）を押すと、着信音が消音になり、バイブレータが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- 連絡先やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。
- ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、電話に出ると録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面 ▶［ ☰ ］▶［システム設定］▶［一般］▶［端末情報］▶［ステータス］

ステータス画面が表示され、電話番号欄に電話番号が表示されます。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）をセットしたmicroSDリーダライタ（試供品）を本製品に接続することにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先やEメールのデータなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

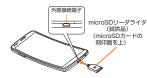
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

memo

- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。以下の操作を行い本製品で初期化してください。
  ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [一般] ▶ [ストレージ] ▶ [USBストレージの消去] ▶ [USBストレージ内データの消去] ▶ [実行する]
- 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

microSDメモリカードを取り付ける

1 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、microSDリーダライタ（試供品）のスロットにまっすぐにゆっくりと差し込む

2 microSDリーダライタ（試供品）を本体の外部接続端子に差し込む

memo

- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
  無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 ホーム画面で［ ☰ ］▶［システム設定］▶［一般］▶［ストレージ］▶［USBストレージのマウント解除］

2 microSDリーダライタ（試供品）を本体から引き抜く

3 microSDメモリカードをゆっくりと引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

memo

- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障･データ消失の原因となります。
- microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- microSDメモリカードのマウントを解除した後に再度microSDメモリカードをマウントする場合は、ホーム画面▶［☰］▶［システム設定］▶［一般］▶［ストレージ］▶［USBストレージのマウント］と操作します。

設定メニューを表示する

1 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定]

■ ネットワーク

Wi-Fi	無線LAN（Wi-Fi®）の設定を行います。
Bluetooth	Bluetooth®の設定を行います。
モバイルデータ	モバイルデータ通信の設定や、通信量の確認などを行います。
通話設定	留守番電話、着信転送などネットワークサービスを設定します。
共有と接続	NFCやデータの共有に関する設定を行います。
テザリングとネットワーク	機内モード、モバイルネットワーク設定など通信に関する設定を行います。

■ サウンド

サウンドプロフィール	公共の場所で周囲の迷惑にならないように設定できます。
ボリューム	着信音や音楽、動画再生時などの音量を設定します。
バイブレートの強さ	振動の強さを設定します。
サウンド中断時間	アラームとメディアを除くサウンドをオフにする時間を設定します。

着信音	音声着信音に設定するデータを選択して登録します。
スマート着信音	周囲が賑やかなときに、自動的に着信音を大きくするかどうかを設定します。
音声着信バイブレート	音声着信時の振動パターンを設定します。また、振動パターンを追加することもできます。
ジェントルバイブレート	振動の強さを現在の設定値まで徐々に強くしていくかどうかを設定します。
着信音とバイブレート	着信時にバイブレートさせるかどうかを設定します。

音声通知	音声着信時に発信者情報を読み上げるかどうかを設定します。
通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
タッチフィードバックとシステム	「ダイヤルパッドのタッチトーン」、「タッチ操作音」、「画面ロック時の音」で操作時に音を鳴らすかどうかなどを設定します。

■ 表示

ホーム スクリーン	テーマや壁紙などの設定を行います。
画面の ロック	画面ロックに関する設定を行います。
フロント タッチボタン	フロントタッチボタンの配列を選択したり、背景のテーマや透明な背景を使用するかどうかを設定します。
画面の明るさ	画面の明るさを設定します。［自動］にチェックを付けると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
バックライト 点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。
画面OFF エフェクト	画面OFFしたときのエフェクトを設定します。
縦横表示の 自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
画面モード	画面のコントラストを設定します。
スクリーン セーバー	スクリーンセーバーの設定を行います。「今すぐ開始」をタップするとスクリーンセーバーが起動します。「スタートアップ設定」をタップするとスクリーンセーバーが起動するシーンを設定できます。

フォントタイプ	画面表示のフォントを設定します。「フォント追加」をタップするとSmart Worldからフォントをダウンロードできます。
フォントサイズ	「極小」、「小」、「中」、「大」、「特大」、「極大」から選択します。
スマートスクリーン	画面を見ている間はバックライトを点灯するかどうかを設定します。
スマートビデオ	画面を見みていないことを感知して、再生中の動画を一時停止するかどうかを設定します。
通知表示LED	不在着信通知、アラーム鳴動時などに通知LEDを使用するかどうかを設定します。
画面色調の自動補正	画像の色を分析し、画面の明るさを自動調整することで電力消費を抑えるかどうかを設定します。
画面キャプチャ領域	画面キャプチャの時、フロントタッチボタンとステータスバーを含めるかを設定します。
アスペクト比補正	ダウンロードしたアプリの表示を画面の解像度に合わせるかどうかを、アプリごとに設定します。

■ 一般

ジェスチャー	ジェスチャーに関する設定を行います。
片手操作モード	「ダイヤルキーパッド」、「LG キーボード」、「ロック画面」表示時に、パッドやキーボードの位置を移動する左右ボタンを表示するかどうかを設定します。「ジェスチャーコントロール」にチェックを付けるとLGキーボードの位置をスワイプで移動するかどうかを設定できます。「フロントタッチボタンの調整」にチェックを付けると、フロントタッチボタンの位置を左右にスワイプして設定できます。
ストレージ	外部機器と接続するための設定を行います。
バッテリー	バッテリー情報の表示、電池残量が少なくなったときに各種機能の使用を抑えるような設定など、バッテリーに関する設定を行います。
アプリ	アプリケーションに関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションを管理します。
マルチタスク	スライドウィンドウやデュアルウィンドウの設定を行います。

アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。
クラウド	クラウドアカウントの登録を行います。
ゲストモード	あらかじめ選択したアプリを専用のホーム画面に表示します。
位置情報アクセス	GPS機能のオン／オフなどの位置情報に関する設定を行います。
セキュリティ	au Micro IC Card (LTE)のロック設定やアプリケーションダウンロード時の設定を行います。
言語と入力	表示言語や文字入力関連の設定を行います。
バックアップとリセット	データのバックアップ／復元、初期化を行います。
日付と時刻	日付と時刻の表示形式の設定などを行います。
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスを設定します。
PC接続	外部機器と接続するための設定を行います。
アクセサリー	イヤホンなどのアクセサリーを接続したときの動作に関する設定を行います。
端末情報	電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

周辺機器のご紹介

■ ACアダプタ（別売）

- 共通ACアダプタ03（0301PQA）
- 共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）
- 共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）
- 共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）
- 共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）
- AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）
- AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）
- AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）
- AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）
- AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）

■ 共通ACアダプタ04（0401PWA）（別売）

■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

■ microUSBケーブル（別売）

- microUSBケーブル01（0301HVA）
- microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）
- microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）
- microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）
- microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）

■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

■ auキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）

memo

- 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
- 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
- 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.90
	◯ 電源キーを長押ししていますか？	P.95
充電ができない	ACアダプタのプラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	P.91
電池を利用できる時間が短い	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	–
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.63
タッチパネルで意図した通りに操作できない	手袋などをしたままで操作していませんか？	P.100
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？	P.100

こんなときは	ご確認ください	参照
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？	－
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.95
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
「UIMカードが挿入されていません」と表示される	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.86
電話がかけられない	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.86
	電話番号が間違っていませんか？ （市外局番から入力していますか？）	P.121
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.133
	「ネットワークモード」が間違っていませんか？	－

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.109
	サービスエリア外にいませんか？	P.109
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.133
	「ネットワークモード」が間違っていませんか？	－
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.133
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.135
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.121
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.81
おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか？	P.90
	「NFC/おサイフケータイ ロック」が設定されていませんか？	－
	本製品の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか？	P.81

こんなときは	ご確認ください	参照
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P130
	USBストレージのマウントが解除されていませんか？	P131

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

ソフトウェアを更新する

ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（連絡先、メール、フォト、楽曲データなど）や設定情報は変更されません。
  ただし、本製品の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。
  また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。

- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。

- ソフトウェアの更新中は移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない動作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番（海上保安本部)、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。
  また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [一般] ▶ [端末情報] ▶ [更新センター] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [アップデートを確認]**

新しいソフトウェアがあるか確認します。
ソフトウェアを更新できる場合はソフトウェア更新画面が表示されます。

2 **通信方式を選択**

ソフトウェアのダウンロードに利用する通信方式を選択します。

3 **[ダウンロード]**

新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

4 **[インストールする]**

ソフトウェアの更新が開始されます。
ソフトウェア更新中は本製品の再起動を1、2回ほど行います。

5 **[OK]**

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

• 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更･端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」･「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失･破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について）

一般電話からは

フリーコール 0077-7-113（通話料無料）

au電話からは

局番なしの113（通話料無料）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは

フリーコール 0120-925-919（通話料無料）

受付時間9:00 ～ 21:00（年中無休）

■ auアフターサービスの内容について

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">サービス内容</th><th colspan="2">安心ケータイサポートプラスLTE</th></tr>
<tr><th>会員</th><th>非会員</th></tr>
<tr><td rowspan="3">交換用携帯電話機お届けサービス</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td rowspan="3">補償なし</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td rowspan="2">お客様負担額
1回目：5,000円
2回目：8,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失</td></tr>
<tr><td rowspan="5">預かり修理</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td>無料</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td>無料（3年保証）</td><td rowspan="3">実費負担</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損</td><td>お客様負担額
上限5,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">水濡れ、全損</td><td>10,000円</td></tr>
<tr><td colspan="2">盗難、紛失</td><td>補償なし</td><td>補償なし
（機種変更対応）</td></tr>
</table>

※ 金額はすべて税抜

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

- au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種･同一色）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

■ 本製品

ディスプレイ	約6.0インチ、約1,677万色、POLED
	1280×720ドット（HD）
質量	約178g（内蔵電池含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約82mm × 161mm × 8.8mm（最厚部約9.7mm）
CPU	MSM8974　2.3GHz クアッドコア
メモリ（内蔵）	ROM：32GB RAM：2GB
連続通話時間	国内　約1260分
	海外（GSM）　約940分
連続待受時間※1	国内　約670時間（LTE使用時） 約690時間（3G使用時）
	海外（GSM）　約700時間
連続テザリング時間	約630分（WAN側LTE） 約660分（WAN側3G）

テザリング最大接続数		13台（Wi-Fi®テザリング8台、Bluetooth®テザリング4台、USBテザリング1台）
充電時間	ACアダプタ	約130分（共通ACアダプタ04（別売）使用時）
	DCアダプタ	約450分（共通DCアダプタ03（別売）使用時）
カメラ（メインカメラ）	撮影素子	CMOS
	有効画素数	約1325万画素
	ズーム	8倍ズーム
カメラ（サブカメラ）	撮影素子	CMOS
	有効画素数	約242万画素
無線LAN（Wi-Fi®）	通信方式	IEEE802.11 a/b/g/n/ac準拠
	使用周波数帯	2.4GHz帯／5GHz帯

Bluetooth®	通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.4.0
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class1
	通信距離※2	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能※3	SPP (Serial Port Profile)、HFP (Hands-Free Profile)、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)、FTP (File Transfer Profile)、HID (Human Interface Device Profile)、HSP (Headset Profile)、OPP (Object Push Profile)、PAN (Personal Area Networking Profile)、PAN NAP、PAN U、PBAP (Phone Book Access Profile) ※4、apt-X、SCMS-T、DUN (Dial-Up Networking Profile) ※5
	使用周波数帯	2.4GHz帯
連続視聴時間※6	フルセグ	約3時間30分
	ワンセグ	約5時間50分

※1 連続待受時間は、静止待受け状態での測定値です。
※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。
※6 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

memo

- 連続通話時間･連続待受時間は、充電状態･気温などの使用環境･使用場所の電波状態･機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【LGL23】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.367W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

○一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html

○auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

○LG Electronics Inc.のホームページ:
本製品の「仕様」のページをご確認ください。
http://www.lg.com/jp/mobile-phone
(URLは予告なく変更される場合があります。)

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)の一部を改正する省令が2013年8月に公布され、2014年4月1日に施行される予定です。

Declaration of Conformity

The product "LGL23" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.313 W/kg at the ear, and 0.318 W/kg when worn on the body. To comply with the RF Exposure limits a distance of greater than 1.5 cm must be maintained from the user's body.
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value.
This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168ⓘ

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi(WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. This equipment may be operated in all European countries. The 5150 - 5350 MHz band is restricted to indoor use only.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE : Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection

against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.63 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 1.02 W/kg (Hotspot).

Body-worn Operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID ZNFLGL23.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://ctia.org/.

認定および準拠について

本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本製品で以下の操作を行うとご確認いただけます。

1 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [一般] ▶ [端末情報] ▶ [規制と安全に関する情報]

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronics Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Google Play、Google Playロゴ、Googleハングアウト、Gmailは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Copyright (C) 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF

ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダー

から入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.comをご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について(通話料無料)

一般電話からは
フリーコール **0077-7-111**

au電話からは
局番なしの **157**番

Pressing" zero" will connect you to an operator, after calling" 157" on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について(通話料無料)

一般電話からは
フリーコール **0077-7-113**

au電話からは
局番なしの **113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

フリーコール **0120-977-033**(沖縄を除く地域)

フリーコール **0120-977-699**(沖縄)

大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています
Printed in Korea(G)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について(通話料無料)

一般電話/au電話から
フリーコール **0120-925-919**

受付時間 9:00～21:00(年中無休)

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

取扱説明書リサイクルにご協力ください。KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

発売元 KDDI株式会社
沖縄セルラー電話株式会社
輸入元 LG Electronics Japan株式会社
製造元 LG Electronics Inc.

2013年12月 第1版
MFL68066001(1.0)